

「認知症を知り 地域をつくる10ヵ年」の構想

(2004年に「痴呆」という用語を「認知症」と改めたことなどを契機として)

2005年4月スタート

2005年度 到達目標

多くの住民が認知症について以下のことを知り、各自なりの対応・支援を考えていくための素材づくり、地域づくりのモデルができている。

- ・認知症の特徴
- ・認知症になっても自分らしく暮らすこと
- ・認知症予防に有効と思われること
- ・認知症になったのではないかと思ったときの対応
- ・認知症になったときの対応
- ・認知症の人の暮らしを地域で支えることの重要性と可能性

2005年
「認知症
を知る1
年」

2009年(中間年)

2009年度 到達目標

- 認知症について学んだ住民等が100万人程度に達し、地域のセンターになっている。
- 認知症になっても安心して暮らせるモデル的な地域が全国各都道府県でいくつかできている。

「認知症を知り 地域をつくる10ヵ年」

2014年度 到達目標

認知症を理解し、支援する人(センター)が地域に数多く存在し、すべての町が認知症になっても安心して暮らせる地域になっている。